

(別添)

水産業共同利用施設復旧整備事業に係る事後評価報告書(岩手県)

計画内容			事業 完了 年度	評価 年度	評価の結果			
計画 年度	番号	施設名			成果目標		現状値の説明	都道府県の 評価結果
					目標値	現状値		
R1	1	作業保管施設	R2	R8	施設の利用日数 365日	施設の利用日数 365日	定置網漁業に使用する漁具を保管する施設を復旧整備し、施設の利用日数(365日)を被災前と同程度とする。 作業保管施設の復旧により、震災前と同様に定置網等の漁具の適切な保管が図られた。 (達成率100%)	施設の整備により、定置網漁業に使用する漁具の適切な保管が可能となり、地域の水産業の復興に大きく寄与している。 目標を達成しており、今後も施設が有効活用されることが期待される。
R1	2	定置番屋:漁労等作業管理休養施設(その他水産庁長官が特に認めるもの)	R2	R8	施設の利用日数 234日	施設の利用日数 240日	定置漁業に従事する組合員が使用する休養施設を復旧整備し、施設の利用日数(234日)を被災前と同程度とする。 漁労等作業管理休養施設の復旧により、震災前と同様に休養施設の利用が図られた。 (達成率103%)	施設の整備により、定置漁業従事者の労働環境及び作業環境が向上し、地域の水産業の復興に大きく寄与している。 目標を達成しており、今後も施設が有効に活用されることが期待される。
R1	4	製氷貯氷施設	R2	R8	年間供給量 砕氷914トン	年間供給量 砕氷635トン	定置漁業者、漁船漁業者及び魚市場関係者が使用する製氷施設を復旧整備し、被災前と同程度の砕氷(914トン)を供給するもの。 近年の海洋環境の変化によって、当地区の基幹事業である定置網の水揚げが大幅に低迷した影響で、当初見込んだ供給量を大きく下回った。(達成率69%)	施設の整備により、水産物の鮮度保持機能が強化され、地域の水産業の復興に大きく寄与している。 近年の海洋環境の変化による主要魚種の水揚げ低迷により氷の需要が減少し、目標を下回ったことはやむを得ないものと判断する。 今後、事業実施主体に対し、施設の更なる活用に向け指導を実施していく。
R2	1	漁港環境施設(大沢漁港)	R2	R8	利用日数 365日	利用日数 365日	利用状況の回復を図り、利用日数(365日)を被災前と同程度にする。 公園の復旧により震災前と同様に利用が図られた。 (達成率100%)	漁港環境施設(公園)の整備により漁業者の就労環境が向上し、地域の水産業の復興に大きく寄与している。
R2	2	放流用種苗生産施設	R2	R8	サケ稚魚生産尾数 20,000千尾	サケ稚魚生産尾数 525千尾	サケふ化放流事業で使用する施設を復旧整備し、大槌町管内にある新おおつち漁協の放流計画尾数(20,000千尾)を目標値としたもの。 令和3年度以降、全県的に河川にそ上する親魚が減少し、種卵の不足が顕著となったこと及び他道県からの移入卵の低調により稚魚生産が困難な状況であるため、目標値を大幅に下回っている。 (達成率3%)	施設の整備により、健康で大型なサケ稚魚の放流による資源回復に貢献し、地域の水産業の復興に大きく寄与している。 一方、最大限の種卵確保や他道県からの種卵確保に努めているものの、全県的なサケの極端な不漁に伴う河川そ上親魚の減少から、稚魚生産に必要な種卵が不足したことにより、目標値を大幅に下回ったことはやむを得ないものと評価する。